

口繪は河合氏が數年前登山せられしとき
のスケッチにて、原畫はワットマン十六切
に候

中繪原色版の筆者コンステイブルはター
ナーと同時代の有名なる英國風景畫家にし
て、當時貧弱なりし風景畫に一新生命を與
へし人に候、歐洲大陸の近世風景畫家は氏
に負ふ處少なからずとの事に候

奈良にて開會の夏期講習會へは、多くの
參考品を備へ置、第二日曜日(九日)午後
より大佛古門前三山亭にて展覽に供し候
間、同地附近の讀者は御來會有之度候

同じく第三日曜日(十六日)は午前九時
より三山亭にて講習會に於ける會員の製作
品を陳列して批評を試むべく候、これまた
參會差支無之候

本誌九月號は都合により四五日程發刊遅
延可致哉もはかりがたく候

近事

△日本水彩畫會研究所六月例會は二十八日

午前九時より開會、眞野講師の透視畫法の
講話あり、午後より批評に移り、出品百餘
點の互選を行ひ、一等松山忠三氏、二等夏
目七策、相田寅彦二氏、課題『坂道』の一等
松山忠三氏、デッサン人物一等水野以文氏
同石膏像一等岡田武彦氏の結果を得て各賞
あり。夫より茶話會に移り、席上寫眞製版
の大家田中松太郎氏の原色版に關する有益
なる講話あり、終て散會せしは午後六時の
頃なりし

問に答ふ

彫刻刀は全部にていくら位でせうか、ま
た吉田松太郎氏に頼めば全部そろへて貰へ
ますか(牛込版が大好き生)◎吉田氏に直接
問合はされたし■一 中學臨本の如き鉛筆
畫手本にて人物(肖像)を主とせるものあり
や二 肖像畫を學ぶに引延しの法を用ふる
の可否三 春鳥會々員に正賛の區別ありや
四 水彩畫研究所の本科一年は墨畫を學ぶ
べきや五 地方講習生は本科と別科と孰れ
が利ありや(北洲の讀者)◎一 なし二 可

なり三 春鳥會々員といふものなし、日本
水彩畫會に會友あり、正賛の別なし四 三
年位迄は墨繪なり五 本科別科の別なし

讀者の領分

『みづゑ』第三、第五御不用の方は相當の
代價にて譲り更けたし(兵庫縣明石町樽屋
町枝吉延太郎)■『版のなぐさみ』をながく
續けて、鉛版、銅版、石版等素人に分つて
(少し位むづかしくも)山本先生の御存知
の丈けを皆出して下さい、牛込版が大好き
生)◎石版は『みづゑ』第二十一にあり■三
十九の表紙で鳩が羽を擴げてゐるのは春鳥
會の發展の兆と大に喜んでゐますそれか
ら内容が益々よくなつてゆくのは嬉しい編
者諸君の勞に對しては御禮の申やうがない
(北海のターナー)■僕は今迄『みづゑ』一
號よりの愛讀者であるが昨今本業の彫刻が
忙がしいので僕の用ひた携帶箱及水筒を賣
りたい、望の人は麻布區霞町一七金江龜へ
申出られたし